

ケアネットせとうち通信

笑顔で長生きできるまち

「瀬戸内市内医療機関一覧」と「私の在宅療養のしおり」 ができました

<しおり作成に関する検討会の様子>



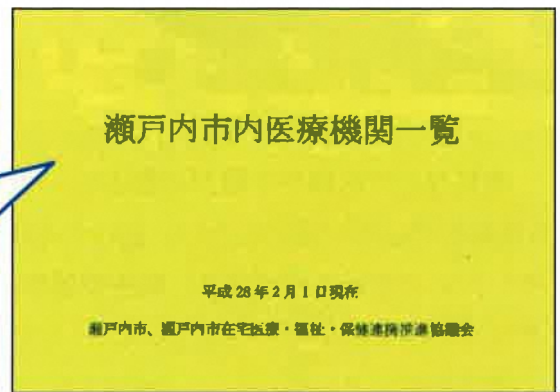
瀬戸内市内には、医療機関、介護・福祉事業所等が約140あり、それぞれの専門職が連携し、支援に取り組んでいます。

よりスムーズな連絡調整や相談体制の充実を目指し、ケアネットせとうち委員が中心となり「瀬戸内市内医療機関一覧」と「私の在宅療養のしおり」を作成しました。

「瀬戸内市内医療機関一覧」は、病院・診療所、歯科診療所、保険薬局の連絡先や診療日等が掲載されています。通院先や訪問診療を検討したい等、在宅療養に関する相談・支援の場でご活用ください。「私の在宅療養のしおり」は、緊急時の連絡先や療養記録、医療・介護に関する希望等を書き込むことができます。しおりの配布対象は、在宅や地域で療養中の方です。今後、どんな治療を受け、どう過ごしたいか等を家族や支援者の方々と話し合う機会になるよう、「私の在宅療養のしおり」を活用していただきたいと思っています。

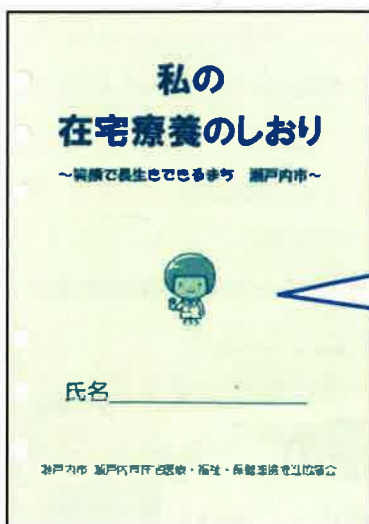
「瀬戸内市内医療機関一覧」 (平成28年2月1日現在の内容です)

病院・診療所、歯科診療所、保険薬局の連絡先や診療日時等が掲載されています



スムーズに多職種連携
できるよう
医療機関一覧を作成
しました

在宅や地域で療養中の方に
活用してもらい
自分の生活や今後について、
一緒に考えてみましょう



「私の在宅療養のしおり」

緊急時の連絡先や、療養記録、かかりつけ、医療・介護に関する希望等を書き込むことができます

始めました!!

在宅医療・介護への取り組み

～ケアネットせとうちの活動を ご紹介します～



平成26年度
在宅医療や在宅介護に関する
意識調査とグループワークを
行いました

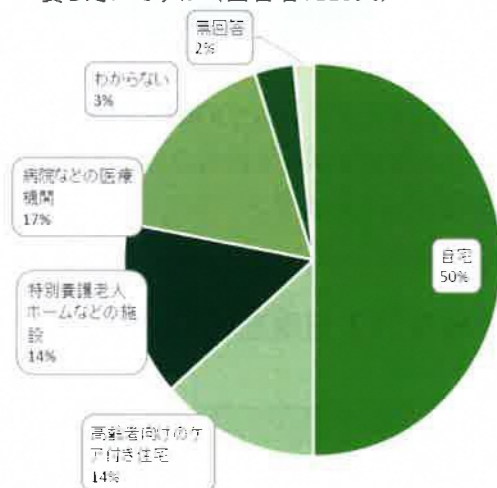
平成27年度
意識調査結果を共有し、
今後の地域での取り組
みを考えました



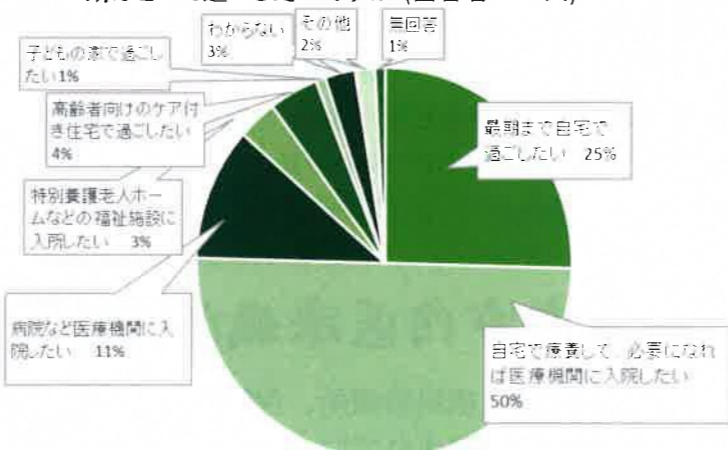
瀬戸内市地域包括支援センターとトータルサポートセンターでは、地域で行われている民生委員児童委員協議会定例会を巡っています。

この会では、昨年度実施した在宅医療・介護に関する意識調査結果の報告と、認知症サポーターミニ講座を行っています。

病気などで医療や介護が必要になった時、どこで療養したいですか(回答者:118人)



万一、病気などで人生の最期を迎える時がきた場合、最期はどこで過ごしたいですか(回答者:118人)



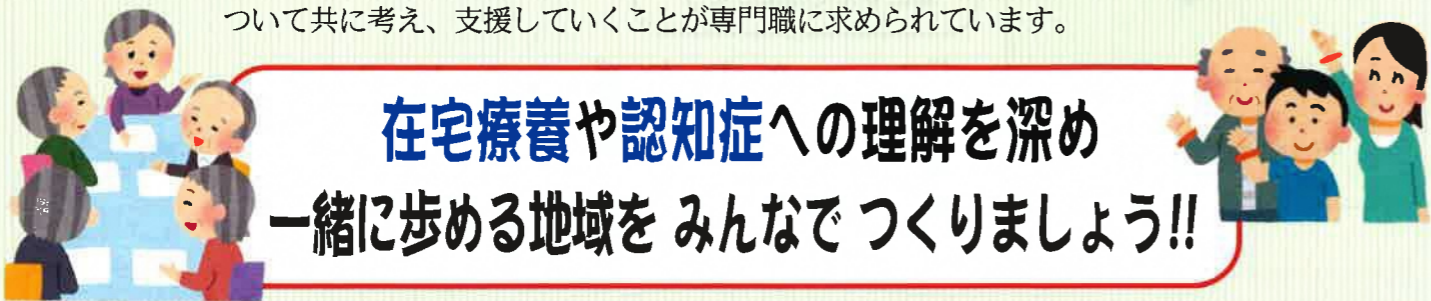
(出典：平成26年度 在宅医療・介護に関する意識調査)

病気などで医療や介護が必要になった時、「自宅で療養したい」という人は回答者のうち50%で、「最期まで自宅で過ごしたい」という人は25%でした。多くの方が自宅や施設等で自分らしい生活をしたと思われています。民生委員のみなさんからは、「普段から、ひとり暮らしや認知症の方に声をかけ、お互いに見守っている」「自分の今後のこととして、認知症について考えていきたい」等の意見がありました。

地域の中で生きがいを持ち、笑顔で健康に過ごせる方が増えるよう、地域づくりや健康増進等について共に考え、支援していくことが専門職に求められています。

在宅療養や認知症への理解を深め

一緒に歩める地域を みんなでつくりましょう!!



在宅医療 多職種連携 研修会

パーキンソン病について学ぶ

【日 時】1月21日(木) 19:00～20:30
【テーマ】パーキンソン病について～在宅療養を支えるために～
【講 師】岡山旭東病院 神経内科部長 柏原 健一 氏
備前保健所 保健師 森本 ゆかり 氏

1月21日(木)岡山旭東病院から柏原医師、備前保健所から森本保健師をお迎えし、パーキンソン病について研修会を行いました。パーキンソン病は難病に指定されており、在宅や入所施設で療養されている方もおられます。

124名の参加があり、「正しい知識を持てば、前向きな生活を送ることができるということが分かった」「思っていたよりも多くの症状があり、病気の捉え方が変わった」「適切な治療やリハビリを行うことの必要性が理解できた」等の感想がありました。

症状の進行に留意し、服薬やリハビリ、声かけの工夫、社会制度の活用等を行うことで、疾病を抱えていても“自分らしい毎日”を地域の中で過ごすことができます。病気や社会制度に関する知識を深め、充実した支援を提供することができるよう、これからも努めていきたいと思います。



<岡山旭東病院 柏原医師>



<備前保健所 森本保健師>



2月4日(木)第8回ケア・カフェせとうちを開催しました。「瀬戸内市にこんな病院があったらいいな」をテーマに66名の多職種が集まり、意見交換を行いました。

医療職からは「参考になる意見が多く、職場に持ち帰り共有したい」介護・福祉職からは「瀬戸内市の現状が理解でき、介護面でもしっかり支えていきたいと思った」等の声がありました。

ケア・カフェせとうち開始から2年が経ち、多職種交流の輪は大きく広がりました。「ケア・カフェで馴染みになり、実際の支援に役立っている」「自分の職場でケア・カフェをやってみた」という声も聞いています。仲間づくり、情報交換の場であるケア・カフェせとうちでは、みなさんの参加をお待ちしています。

- ・リハビリが充実しているといいな
- ・訪問診療や訪問看護があるといいな
- ・連携がとりやすく、相談しやすいと助かる
- ・ボランティアも活躍したいな

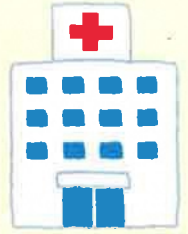
<第9回予定>

6月16日(木) 19:00～ テーマ「認知症」





在宅療養連携シート「入院時情報提供書」 ができました



瀬戸内市では、入院時から在宅移行に向けた連携をスムーズに行えるよう、在宅療養連携シート「入院時情報提供書」を作成しました。市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、瀬戸内市民病院、瀬戸内記念病院のみなさんにご協力いただき、平成27年11月からシートの試験利用を開始しました。その後、利用状況や改善点等について意見をうかがい、平成28年2月に内容を一部改訂し、3月16日(水)在宅療養支援に係る連絡会を行いました。連絡会では、介護支援専門員、小規模多機能型介護事業所、病院の地域医療連携室で意見交換を行いました。

入院を機に心身や生活状況が変化し、必要となる支援が変更になることもあります。入院直後から多職種が連携し、話し合うことができれば、課題の共有や在宅・地域での受け入れ準備も充実し、支援を必要としている方々の安心につながります。

「入院時情報提供書」を通じ、在宅医療についてみんなで考えていきましょう。



「在宅医療・介護推進フォーラム」

市民講座のお知らせ

日時：5月14日(土) 13:30～16:00

場所：瀬戸内市総合福祉センター

2階大会議室

定員：100名(事前申込み不要)

テーマ：人生の最期まで安心して暮らすために
～在宅医療・介護の立場から
認知症の人の支援を考える～

ケアネットせとうちでは、市民講座「在宅医療・介護推進フォーラム」を開催します。

医師・小規模多機能ホーム・グループホーム・地域包括支援センターより実践発表を行います。

特設コーナーでは、服薬管理や口腔ケア、嚥下食、福祉用具の展示、高齢者・障がい者福祉に関する相談機関の紹介等を行います。

在宅や地域での認知症の方への支援について、一緒に考えてみませんか。

<ケアネットせとうち事務局>



瀬戸内市保健福祉部 トータルサポートセンター

〒701-4246 岡山県瀬戸内市邑久町山田庄 862-1 (瀬戸内市総合福祉センター内)

電話：0869-22-3800

FAX：0869-22-3801